

刊夕日七十二月八



定額 一圓五角
廣告料 五號十二字 一圓五角
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式會社

北滿便り

日本憲兵隊 草野村出身 邊渡美太郎
四、氣候
寧古塔の氣候

北滿各都市に比し氣温良しく、昭和元年より同三年迄の平均氣象を示せば左の如し

區別	高	低	平均
一月	〇、二〇、三〇、五〇	二〇、三〇、四〇、五〇	二〇、三〇、四〇、五〇
二月	一〇、二〇、三〇、四〇	一〇、二〇、三〇、四〇	一〇、二〇、三〇、四〇
三月	一七、〇、九	一七、〇、九	一七、〇、九
四月	二四、二、八、二	二四、二、八、二	二四、二、八、二
五月	三〇、二、二	三〇、二、二	三〇、二、二
六月	三六、四	三六、四	三六、四
七月	四二、一	四二、一	四二、一
八月	四八、九	四八、九	四八、九
九月	五四、一	五四、一	五四、一
十月	六〇、二	六〇、二	六〇、二
十一月	六六、三	六六、三	六六、三
十二月	七二、四	七二、四	七二、四

平均結氷期間は十一月十四日、終霜は四月十日
一日より翌年四月二日迄、西北の風多く殊に四、五、六の三ヶ月が強い。
地下の結氷は四尺乃至七尺位で、地方では七凍八化と言つて、室外地下室は八尺迄掘下げねば不可と言はれてゐる。
五、交通
縣内は山嶽と平野相仲し居るも交通は古より良く開

産業開發の一助となつて居る

東支鐵道は縣内、西は横道河子より、東は鐵領河に至る間を東西に貫通して東垂陸道の咽喉を爲す。其他幹道と稱すべきものは寧安より西吉林に至るもの南汪清、延吉に至るもの東北依蘭に至るもの西北同賓五常に至るもの等がある。然し概ね崎嶇險阻にして通行頗る困難である。然し清朝の末期より逐次修理を加へ其沿道には驛站を設ける等相等の努力を拂ひたるを以て、他の交通路も是等幹線道路を中心として、漸時發達する様になつたのである

六、滿洲事變發生前の支那軍隊及び地方治安の狀況
支那軍隊の警備狀況
寧古塔には綏寧鎮守使公署ありて、隸下の獨立第二十二旅を以てねい安、穆稜、蜜山、東ねいの四縣に亘る警備及東支線移接以來ボクランニチナヤ驛に至る間の鐵道警備に任しねい安内には左の如き配置をなし居りたり。

地名兵數摘 要
古塔約〇〇第一營本部あり内歩兵三〇〇騎兵二〇〇
東京城二〇〇騎兵の一個中隊

結婚前後

創作 山田案々子
「黒土會」
「ナア芳枝！お前の好きなのだ。お父さんはどつちでもいゝのだ。廣井さん方はお前が行けばすぐ別に家を持して呉れる相だし、野村さんだつて姑一人切り、それに耕す田圃はほんの印だけで小作料だけでも充分遊んでゆける財産だ。お父さんはどちでもお前が幸福に暮せるところへやりたいのだ。それが即ちお父さんの幸福なのでな、ハ、ハ、」と父は彼女に相談をかけた。

廣井さんとは町の反物屋の次男だつた。裁縫、編物に腕の冴えてゐた彼女にはむしろこちらが適當だつたかも知れぬが彼女は町が嫌だつた。
米から野菜まで買つて、狭い所で不自由な暮をする事は大嫌だつた。
敢て彼女は財産を目當とした譯ではなく、かうした理由で村で生れた者は村へ婚したのであつた。

だが彼女の父の思つた様に決してこゝは幸福な處ではなかつた。
姑は亡くなつた夫と爪で火を燃して作り上げた財産だけに、何よりも財産を貴重なものとし極めて吝嗇で恐ろしく意地悪だつた。
不馴な嫁をいたはるとか可愛がるとか、親切の心は更になく、萬事お前のいゝ様に任せながら一々アラを拾ひ上げてはさも大発見した様に隣近所へ報告するのだつた。
夫は又稍頭が足りなく、體が弱く怠けるのが好きで仕事を何よりも苦痛とするのだつた。
それで極く忙しい時は別として、殆んど大抵は彼女一人切で仕事をせねばならなかつた。
内ではお臺所。外では烈しい田圃の仕事。
これでは彼女の細腕に到抵堪えられぬ負擔だつた。
堪えきれぬに耐へて居られた来た彼女はここで荒れ狂ふ大怒濤だつた。

幸福なる吾等

佐藤一郎
紺青に澄切つた朝の空
その空の彼方から
温かい神の慈愛の光が
僕の全身に注がれる
素足に觸るゝ草の露を

× × ×
だが彼女の父の思つた様に決してこゝは幸福な處ではなかつた。
姑は亡くなつた夫と爪で火を燃して作り上げた財産だけに、何よりも財産を貴重なものとし極めて吝嗇で恐ろしく意地悪だつた。
不馴な嫁をいたはるとか可愛がるとか、親切の心は更になく、萬事お前のいゝ様に任せながら一々アラを拾ひ上げてはさも大発見した様に隣近所へ報告するのだつた。
夫は又稍頭が足りなく、體が弱く怠けるのが好きで仕事を何よりも苦痛とするのだつた。
それで極く忙しい時は別として、殆んど大抵は彼女一人切で仕事をせねばならなかつた。
内ではお臺所。外では烈しい田圃の仕事。
これでは彼女の細腕に到抵堪えられぬ負擔だつた。
堪えきれぬに耐へて居られた来た彼女はここで荒れ狂ふ大怒濤だつた。

× × ×
だが彼女の父の思つた様に決してこゝは幸福な處ではなかつた。
姑は亡くなつた夫と爪で火を燃して作り上げた財産だけに、何よりも財産を貴重なものとし極めて吝嗇で恐ろしく意地悪だつた。
不馴な嫁をいたはるとか可愛がるとか、親切の心は更になく、萬事お前のいゝ様に任せながら一々アラを拾ひ上げてはさも大発見した様に隣近所へ報告するのだつた。
夫は又稍頭が足りなく、體が弱く怠けるのが好きで仕事を何よりも苦痛とするのだつた。
それで極く忙しい時は別として、殆んど大抵は彼女一人切で仕事をせねばならなかつた。
内ではお臺所。外では烈しい田圃の仕事。
これでは彼女の細腕に到抵堪えられぬ負擔だつた。
堪えきれぬに耐へて居られた来た彼女はここで荒れ狂ふ大怒濤だつた。

快く感じながら
青々とした稻の根元に手を
入れた
細くとも赤銅色のこの腕
恵まれたる此の田圃の廣さ
お、これこそ……
美しい吾等の樂園だ

平町二丁目
三井タキ
電話 八六八五番

漆器は**共**が専門
品質の正確と!!!
値段の破格と!!!
在庫品の豊富と!!!
懸命の奉仕は!!!
弊店のモットー!!!
丸共共榮漆器店
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
記念表彰品。恩賜賞品。御注文應調製
進物贈答品。賞品景品類。
店員募集 (十三才ヨリ二十二才マデ)

金銀高價買入
根本時計店
平町田町 丸新デパート
質札は(金時計指輪指輪類)有利に御相談致します

中村齒科醫院
平町 鍛冶町七

平町三丁目
郡下模型飛行機競技大會
第三回
◎期 日昭和七年九月十八日(第三日曜)
◎場 所 平町第三小學校庭
◎競技方法 タイム滞空競技
◎賞品 一等高さ一尺の大銀カフツ及び銀賞牌、銀メダル其他十五等迄
澤山進呈奮て多數御参加あらん事を！
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ
主催 平町 いづみや飛行機材料店
後援 平町 常磐毎日新聞社
東京 タイヤモンド 模型飛行機 東京研究會

圓滿裡に

提出案全部可決

健康保険部長會議

既報東北六縣健康保險部長會議は本日午前九時より平町丸友ホールに開催され各縣代表者三十餘名が左記本縣醫師會提出及び各縣提出の協議事項を附議

- △被保險者罹病率著しく高き場合に關する件
- △被保險者を收容する病醫院の資格に關する件
- △專屬醫に關する件
- △被保險者資格取得前に於ける疾病に關する件

を圓滿裡に可決確定した尙次回開催地は大休仙臺市となる模様である因に各縣よりの出席者左の如くである

(福島縣) 大原一 大田三郎 前野庄次郎 照内淳良 三澤三郎 大宰多計司 高木保清 國分正雄 橋本今朝春(宮城縣) 栗原永之助 佐藤幸三 渡邊勇治(山形縣) 高橋貞次 鈴木善次郎(秋田縣) 深味貞治 加賀谷敬治(岩手縣) 又重完吾 今淵宗敬(青森縣) 松原正治 菊地省吾

一行清遊

郡醫師會接待

新舞子から勿來迄別項奥羽六縣醫師會の修業

吉屋本店に開かれる懇親會に列席する

手工

品評會

既報石城郡下各小學校教員手工講習會は去る二十五日より於て東京高等師範學校教授三苦正雄氏指導の下に行れたが、明日午前九時より會員二百餘名の過去三日間に亘る製作品(粘土細工)アヒル花瓶(木工細工)本立衣紋掛(厚紙細工)はかき箱状差等の品評會を開くと

秋刀魚

今年はやい!

大群を既に三回發見

磐城丸の報告

本縣の水産試験場磐城丸の報告に依ると廿五日午前九時頃金華山南微北二分の一北三百七十海里海區で秋刀魚の大群を三回發見した由で本年の秋刀魚漁は相當早

縣青年体本郡の陣容

反省と短評(五)

八、砲丸投射
最も豫想を裏切られた種目である、それは選手でなく記録上のことである、一位青野(湯本)二位西牧(内郷)三位山内(草野)は豫定の通りである、その記録は一〇、五九米とは何と貧弱なことよ、十六封度は昨年より改正で今年第二回目

救済策打合

濱三郡町村長會

濱三郡町村長會は來月八日平第三小學校に開會、救済事業打合せを爲すと

庭球敗る

選手權大會に

既報磐城中等學校庭球部にては一昨日より二日間に亘り東北學院庭球部主催の下に同院中等部コートに於て開れた第九回北日本中等學校庭球選手權大會に廣澤教諭附添への下に小川、大谷及び川隅、竹澤の二組を出場

會計検査

縣屬が來平

平町縣立學校其他は本月末より三日間根本、穴澤の兩縣屬が來平左記日割で會計検査を行ふと

灘引漁業

準備に入る

石城郡江名町の漁業家は愈々十月一日より灘引の漁期に入るの目下船体、船具等の修繕をなし出漁の準備中であると

矢田川改修

玉川村長出縣

石城郡玉川村長駒木根忠三氏は昨廿六日村議五名と共に豫て同村より縣に陳情しつゝあつた同村住吉地内矢田川改修工事の促進運動の爲め出縣した

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番



最優最良 志平 大目 日本 生賀 命盛 平一 代理 店榮 番三

美味! 芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社 電話一〇番

榮養價最も豊富な

麩を召上れ！として

本郡焼麩同業組合が大宣傳 今や全国には食ふ會が設立

今回醫學博士の學位を授與された廣川松太郎氏の論文「移植腫瘍の發育に對する食餌の影響について」と題する

學說に依つて麩の主成分植物性蛋白質が不治の難症である癌腫の治療豫防に効能のあることが確定され且つ同氏の推論より麩は純粹の

植物性蛋白質で小麦から澱粉即ち含水炭素を除いて製した食物である爲めわが國の家庭で精進料理を重んじ麩を常食として居る事榮養保健の上に有益であつた

事實が裏書された結果

果東京や名古屋、關西方面には今や「麩を食ふ會」が設立される程である爲め石城郡焼麩同業組合にては此際自家製品の普及を圖つて地方民の保健の一助と爲さんと關井嶽藥師の

祭禮や飯野八幡神社

祭典の出入に際し是れが料理法記入の宣傳ビラ數萬枚を配附する事になつた

勿來農民講習 石城郡勿來、錦方部中堅農民講習

習會は來月八日に勿來町農會事務所で開催されるので郡農會青山技手が講師として出席すると

貧困兒童

石城郡江名町にては小學校通學し得ぬ貧困兒童が相當増加したので町當局では學費の補助をなすべく目下各學年別の學費並に貧困兒童數に就て調査中である

香味豊かな

初秋の味覺

メロン出廻る

石城郡神谷村の農事試験分場にてはメロンの摘果期に入り甘味最も深いアルスヘポリスト、ツクバ第一、第二號、エメラルドガム、ミツホ、リングリッド等十數種の和洋種が市場に出廻つて居るが廿五掛前後で何れも香味豊かに初秋の味覺をそとて居る

遞友野球勝つ

平遞友對三町目チーム野球試合

逃走豚は

屍体で發見 四倉管内にも發生

昨報石城郡小名濱町の逃走コレラ豚は間もなく病屍体となつて發見され全町内の養豚場に大消毒を行つたが昨廿六日には四倉署管内にも矢張豚コレラが發生を見つたので平署では目下豫防對策に腐心して居る

放火娘の

公判期日決定

昨報延期された石城郡内郷村大字高坂字高橋一番地無職齊藤梅代(七)假名に對する放火事件の公判は來月六日午前九時より平支部公判

明日のラジオ

廿八日

今晚も明日も北東の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六〇〇 子供の時間
少年音樂講座「うたのおけいこ」終 外山國彦
後六三〇 山と海の講座
「佐渡の海岸景觀」徳重英助
後七三〇 講演「漁船の遭難と氣象放送」志野徳助
後八〇〇 連續講談「河

原の撫子「終席大島仙鶴」
後八三〇 通俗音樂「ハルモニカ四重奏」第一、ハルモニカ川口章吾 第二、ハルモニカ 荒木東洋彦、ギター 藤田一郎
後八四五 通俗音樂「マンドリン合奏 慶應義塾マンドリンクラブ 指揮 服部正
後九〇〇 寶生流謠曲

明日の部

前九一〇 榮養料理「冬瓜の味噌汁、煮豆」榮養研究所
前九三〇 (子供の時間) 室内樂 アルメリア四重奏團
前一〇〇〇 宗教講話「宗教の眞隨」建長寺派管長大僧正 菅原時保
前一〇四〇 講演「恙虫病及類似疾患の研究」醫學博士谷口映二

前一、一〇 謠曲講座「謠の道しるべ」(三三)實演觀世左近解説池内信嘉
後〇五〇 「新人紹介の午後」
後四〇〇 運動競技「固定席艇選手権決勝競漕大會」鹽釜灣築港コースより中継
後六〇〇 子供の時間
童話劇
後六三〇 越味講演「文學に現はれたる東此地方のローカル・カラー」佐々木俊郎
後七三〇 「歌舞伎の夕」(高瀬舟)中村魁車一座
「女團七三筋の達引」澤村源之助外

猫イラズで自殺

應急手當を受けたが 遂に蘇生せず絶命

石城郡小名濱町宇愛若下一九居住加藤三次(三)は昨廿六日午後四時頃自宅にて猫いらずを多量嘔下し苦悶中を家人に發見され直に附近醫院にて應急手當を受けたが同夜八時頃遂に絶命したが原因其他に就いては目下小名濱警部補派出所で取調中である

無理

心中の

男が自白

新米の踏倒

平町の筋肉労働者は相寄つて磐城労働平和會を組織し會員三百數十名に及んだ爲め近く聚樂館に於て發會式を擧げる由であるがその綱領左記の如くであると
△本會は正義を重じ労働者一般の生活擁護の爲に戦を期す

泥酔して

落しもの

石城郡内郷村字町田魚行商人山田忠藏(三)は廿五日午後十時頃小名濱町よりの歸途泥酔して居た爲め懐中の現金九圓と懐中時計紛失し飲んだ酒も醒めて平署に届出した

江名町の

副業講習

石城郡江名町漁業組合では去る廿日午前十時より同町永崎分教場に於て組合員の福業奨励の爲め漁業用苴繩の製造講習會を催したが出

- #### 平職業紹介所報告
- 回求人部
- △製材工 三十迄 尋卒 日給五十銭位(平町某)
 - △子守 十七才 尋卒 月四圓四(倉町某)
 - △女中 十八才 尋卒 給料面談(平町某)
 - △自轉車工見習 二十以下 尋卒 月三圓より(平窪村某)
 - △回求職の部
 - △土工 四十五才 尋四 給料面談(平町某)
 - △雑役 十九才 尋卒 給料面談(平町某)
 - △旅館番頭 二十三才 中四修 給料面談(湯本町某)
 - △文撰工 十九才 高卒 給料面談(平町某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】
悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第三百三十六席 眞庭念流の達人櫻井五助

惣六方に身を寄す

秋山要介は岸丈右衛門と共に松岸の常陸屋といふ旅宿に引取つたが夕飯が終ると権右衛門の許に出て来た要「権右衛門、峰吉はまだ戻らぬか」

権「先刻歸つて参りました」

要「そうかこれへ招んでくれ」

権「イエ此處には居りませせん、先生がお出になつた事を話しますと奴めがびつくりしてどうか親分助けて呉れと申しますから早々草鞋を穿せて旅へ出しました」

怒り

要「コレ権右衛門、貴様は俺を欺き居つたナ、峰吉の代りとして貴様の白髪首を持つて行く覺悟しろ」

権「マア先生お待ち下さい、峰吉は今わたくしの子分、悪事をしたにもせよお前さんに峰吉を此處で殺させる事は出来ませせん、峰吉がわたくし共であなたに斬られたならば仲間の者は何んと云ひます、権右衛門は毫碌した盃を遣つて子分にした者を秋山先生に殺させた、親分子分の情の無え奴

出で殺されたならば此方の恥にもなりません」
要「成程それでは是より惣六方へ参つて峰吉を首にする」
と云ひすて丈右衛門を伴れて出て行つた、此方はみね吉脚氣にて惱む重い足を引きながら惣六の所へ来た



まアこんな事も云ひませうそこで峰吉を此處に置かぬやうに致しました、奴の行つた先は銚子の觀音前惣六の酒店、其處へお出になればみね吉は首を洗つて待つてゐます、わたくしの許を

之は居酒屋をしてゐる惣「これはお出なさいませこの二三日は好い天氣でございます、銚子は風の強いが名物ですが昨日から隠かでございます、尤も十月は小春といふほど閑かな日が續きます」

惣「ハイ、長まりました」
峯「爺さんは稼業の事だと聞えるナ」
惣「左様でございます、儲かる事ならば虫の啼く様な聲でも聞えます、錢にならぬ事はよく聞えませせん」
峯「そいつは重寶な聲だ、酒を持つて来てくれ」
惣「ハイ、只今」

酒と鱈の鹽焼を持つて来た、上り櫃に腰を卸したみね吉、湯呑についてグビリ「と飲んでゐたが」
峯「爺さん今日はおめえ一人か」
惣「ハイ、飯間に縁付いた娘が産をいたしまして婆は手傳ひに行き茲二三日戻つて参りませせん」
峯「それは忙しいであらう時に爺さん四五日此處へ泊めて貰ふ、イヤ親分の許をしつたわけでは無え」
惣「左様でございますか、こんな處で宜ければ泊つてお在なさいまし」
峯「これは旅籠代に食料だ」
と一歩出した

惣「有難う存じます、それにしても何んでお前さんはこんな所に泊る事になりましたね」
峯「俺の首を狙つて居る奴があるそれで此家に四五日居てほとぼりの冷める頃に他國へ行くつもりだ」
惣「へ、お前さんの首を狙ふ奴がある、そんな首を持つて行つて何んにします」
峯「何にするものか入用だから取る」

惣「それは物騒でございます、すな、他の者とは違ひ首を吹くことにはありますまい」
峯「さうよ、二度と首は出兼ねえナ、あ、酔つた、心配事があると陰氣に酔つていけねえ」
と話してゐる内にもう夜の十時頃、ド、ド、ド、ド、と岸を洗ふ水の音

峰「これは風が出て来たナ大分海が鳴るやうだ」
惣「左様でございます、然し今頃は暴れもございませぬから海が鳴ればとてつなみなどは出ませぬよ、南無妙法蓮華經」
と題目を唱へながら其の邊を片付けてゐる

●は切貨●
電話三四三番の
!!!〜シクタ和昭〜!!!

難波醫院
平町新川町
電話五〇二番

葬具と
靈柩自
動車御
用達
造花
新らしく安い
町新町平
屋本橋
番三六一話電

耳鼻咽喉科専門
増田醫院
平南町 (電話四二八番)

金融
各生命保險會社保險證書ニ即時御融通
◎債券御取立ノ御依頼ニ應ジマス
債券整理ノ御依頼ニ應ジマス
平南町(二十三夜側)
伊東社

外科
門專
科線光X
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

吉田眼科病院
平南町、電話六八番